

若竹荘へ自転車4台寄贈

豊川市国府町の株式会社「杉村塗装」様から母子生活支援施設若竹荘に自転車4台が寄贈されました。豊川信用金庫の寄付型私募債「かわしんSDGs私募債」を活用したもので、大人用電動アシスト自転車1台と子供用自転車3台(約30万円相当)が贈られました。

杉村塗装様は、あけぼの作業所のウエスのお得意様で、お付き合いが長く、贈呈式で杉村大介社長は「丁寧な仕事ぶりや礼儀正しさに感銘を受け、もっと多くの人に若竹荘を知ってもらい、支援の輪が広がってほしい」との思いから自転車の寄贈を決めたそうです。

若竹荘の本多俊一理事長は「温かい支援に感謝したい。自転車で行動範囲が広がるだけでなく、子どもたちが大きな夢を抱くきっかけになる」と感謝しました。

また、豊川信用金庫の川村明弘常務理事は「両社を結ぶことができうれしい。杉村社長の思いが伝わる寄付になった。今後も地域に根差した活動を続けたい」と話されました。

